

事業所名 児童デイサービス・アニマートふきあげ

支援プログラム（参考様式）

作成日

6年

12月

10日

法人（事業所）理念		「元気に生き生きと、子供と自分が共に成長できる空間」										
支援方針		「遊び」を通して、精神的、身体的機能を最大限に伸ばし、将来社会的自立ができるようになることを目標とした一人ひとりの発達段階に合った内容を考え、身辺自立、運動、認知、言葉、社会性などの支援、また、様々な活動を通して周囲に関心を持ち、集団意識を高め、保護者の方々共に考えながら総合的に発達を促せるよう無理のない計画を立て実施する。										
営業時間		(学校終了日)	10	:	0	~	19	:	0	送迎実施の有無	あり	なし
		(学校休業日)	9	:	0	~	18	:	0			
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ◎定期的な健康状態や心身の把握（登所時の検温・用紙への記入、登所時の本児の気分や様子の把握） ◎基本的な生活スキルの獲得、身辺自立の支援 ◎定期的・定時に通所する事で生活リズムの形成や安定を図る ◎ST（言語聴覚士）による個別支援を実施（食事に関する事） ◎OT（作業療法士）による個別支援を実施（その子の生活に応じて） 										
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ◎OT（作業療法士）、ST（言語聴覚士）による月2回の体操教室を実施（姿勢と運動・動作の基本的技能の向上、感覚の育成・・・体をほぐすストレッチ、前転・後転・ブリッジ・体を支えられての倒立、トランポリン、サーキット運動、バランスボールでの姿勢保持等） ◎音楽に合わせて体を動かす遊びや運動への取り組み ◎感覚の特性への対応 										
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ◎時計の読み方の学習や、1日の活動内容や時間をホワイトボードに提示し、タイムテーブルを確認する事による時間の認知形成 ◎活動の切り替え時にタイマーを使用 ◎レゴブロックやLaQ遊びによる、空間把握の認知形成、粘土や折り紙遊びによる、物質の変化と感覚の認知形成等 										
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ◎コミュニケーションの基礎的能力の向上（要求をジェスチャーや絵カード、言葉で相手に伝える） ◎ルール等をイラストや絵カードを使用して視覚化 ◎帰りの会での活動の振り返り等を実施、言語表出・受容 ◎状況に応じたコミュニケーション（挨拶や、「貸して」「ありがとう」「ごめんなさい」等） ◎ST（言語聴覚士）による個別支援を実施（言葉に関する事） 										
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ◎情緒の安定や、自己の理解と行動の調整 ◎一人遊びや並行遊び、役割分担のある共同遊び（ままごと等）、集団遊び（鬼ごっこ等）の組み合わせ ◎ルールの理解が必要な遊びへの参加（トランプ、UNO等のカードゲーム、人生ゲーム等） ◎集団活動（体操教室、製作、外出等）への参加 										
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ◎6か月に1度の保護者面談、アセスメント実施、家族からの相談に対する適切な助言等 ◎日々の支援に関して、保護者との情報共有や連携を図る 						移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ◎ライフステージの切り替えを見据え、将来的な移行に向けての準備等 ◎地域とのつながりの取り組み（他事業所、地域住民や地域商店、施設との交流等） 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ◎行政、認定こども園、学校、相談支援事業所や相談員、医療機関等との情報共有や連携 						職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ◎月1回テーマを決めての内部研修の実施、外部研修への参加・職員への研修内容の落とし込み ◎資格取得への支援（児童発達支援管理責任者、強度行動障害等） 		
主な行事等		年2回 避難訓練実施、保護者会、進級パーティー、七夕夏祭り、ハロウィーン、クリスマス会、初詣、お正月遊び、節分、ひな祭り、親子参加型レクリエーション、調理レク 公共交通機関を利用したの外出体験、講師を招いての体験講座 等										